

第115号 (1992年5月)

- Ben Line (ウイリアム・トムソン社) の航跡
 (W. Thomson 2世の時代) 近藤 美作
 (本名: 且延 繁
 元山下新日本汽船)
- 転換期のジャパンP & Iクラブ 高田 四郎
 -1984~1990年- (日本船主責任相互保険組合
 前理事長)
- アラスカ油濁事故の衝撃 (続編) 高橋 清
 -その余濤余波- (その2) (石油海事協会専務理事)
- 【資料】**
 日米両国経済指標の中長期対応 (上) 今橋 宏
 (神戸マリンターミナル)

第116号 (1992年8月)

- 海運業における規模の経済性 吉田 茂
 (神戸商船大学助教授)
- 国際複合輸送と情報ネットワーク 陶 怡敏
 (広島経済大学助教授)
- B/L取引秩序研究の30年総括 小原 三佑嘉
 -とくに国際的動向の回顧と展望- (中) (神戸市外語大学教授)
- 【資料】**
 日米両国経済指標の中長期対応 (中) 今橋 宏
 (神戸マリンターミナル)

第117号 (1992年11月)

- フラッキング・アウトと外国人船員の雇用 澤 喜司郎
 -国際要素移動モデルによる検討- (山口大学教授)
- イギリス沿岸海運の発展 梶本 元信
 -産業革命から第1次世界大戦まで- (帝塚山大学助教授)
- 1980年代後半以降の極東から米国向けのコンテナ物流の急展開と定期船
 業界の変貌の状況 山中 洋
 (本名: 竹ノ内 豊 司)
- 【資料】**
 日米両国経済指標の中長期対応 (下) 今橋 宏
 (神戸マリンターミナル)